

# 文芸

## 俳句

野の色のぶくつと膨み地虫出ず

伊藤 敬子

耐え忍び天辺の春大銀杏

今関満喜子

猫の恋拒むが如くガラス窓

魚地 照子

春風を受けて少女の一輪車

加瀬 俊昭

かぎろひぬ傘寿は老いとも余生とも

川島 通則

空堀を越して薫るや花の兄

向後 寛

晴れ渡り陽炎もえる野末かな

越川せつ子

スニーカーの弾む力や春の音

小松 藤男

通院の一步先行く寒鴉

佐瀬 輝夫

春一番書きとめて置く農日誌

鈴木とし子

急ぐ我に煙る家並春嵐

土屋美枝子

予科練の平和公園かぎろひぬ

土屋 義昭

桜餅一つほぼぼる至福かな

戸村 静華

春の日や日溜る中に猫となる

内藤 くに

陽炎や降り立つ天女白昼夢

西崎さち子

紺碧の北総の空春立ちぬ

早川 勇

影までも香りの虜梅日和

藤田 雅夫

## 短歌

庭中の薔薇の蕾もふくらみて  
紅に咲く時を待ちおり

加瀬 弘子

紅梅が見えてその先白梅の  
咲く家見える通勤の道

西山満里子

おばあちゃん早くと呼ばれテーブルに  
知っていたのか吾の誕生日

押尾 輝子

ガラス戸に背越し日を受けぬくぬくと  
北風よそに本を読みをり

田崎 尚美

枯れ草の土手の傾りも青み初め  
如月もあと数日となる

芹川 初子

筑波嶺の梅林に咲く白と紅  
割合の良きを亡夫と眺めし

鈴木まさ子

蕾持つ春蘭の鉢を部屋に入れ  
朝な朝なに眺めてゐたり

水須 俊

目の前の風はおだやかに吹きいるを  
天上は雲を吹き飛ばしおり

椎名美枝子

日に三度皆の集える食堂は  
四方の話で楽しき広場

斉藤つね子

戦中と戦後を一人に歩み来し  
伯母九十七歳天に召されり

浅野 榮子

雪まつり見終えて急ぐ空港に  
足止めされし思ひ出はるか

青木 秀子

## 作品展

### ◎町民会館ミニギャラリー

4月 華舟会  
5月 展示なし

### ◎文化会館ロビー展

4月 展示なし  
5月 展示なし

### ◎銚子商工信用組合展

4月 横芝写真クラブ  
5月 展示なし



## ●町民ギャラリー●

### ◎企画展 鈴木総男の四国八十八箇所と東総新四国八十八箇所展

鈴木総男氏は、四国巡礼を兼ねて八十八箇所の霊場を絵画に描きとめました。町内には、石や木で彫られたお大師様があちこちに安置され、かつては大師信仰が盛んだったと同時に、四国巡礼も願望の一つであったことが伺えます。その両者の願いが形となって表れたのが絵画であり、大師像です。

今回の町民ギャラリーでは、芸術家と人々の巡礼と信仰について、考えをめぐらせてみたいと思います。

とき 4月8日(土)～6月18日(日)  
午前9時30分～午後5時30分

ところ 図書館2階町民ギャラリー

☎社会文化課生涯学習班 ☎84-1358

